

第2学年 図画工作科学学習指導案

日時 2017年5月29日(月) 2校時

場所 生駒北小学校 2年1組教室

児童 29名(男子14名、女子15名)

(うち特別支援学級女児1名)

授業者 細川 雅史

支援学級担任 浦川 直美

1 題材名「おもいでを かたち」(日本文教出版 1・2下)

2 指導について

本学級は、図工の授業を楽しみにしている児童が多く、意欲的に取り組んでおり、自分の作品を周りの友達と見せ合ったり、発表したりすることも楽しんで行っている。また、折り紙でリボンを作る課題を行った際には、手先が器用な女子児童が多く、苦手な児童にアドバイスできる。

油粘土は、第1学年で使用しており、球体や角柱のような基本的な形を作ることではできている。また、油粘土を使って自由に造形する経験もしている。本題材では、楽しかったことというテーマで造形を行うがなかなか思いつくことができず、意欲を低下させてしまう児童もいるかもしれない。そこで、5月に行った橿原市昆虫館への遠足にテーマをしぼって造形させるように指導していく。遠足後の日記指導では、楽しかったことを思い出して書いている児童が多くいた。

児童のイメージを補助できるように、ICT機器を活用する。まず、楽しかった記憶を思い出させるために、遠足当日に撮影した写真を電子黒板で提示していく。写真は、昆虫館内の様子や見た昆虫の種類、お弁当を食べている様子、遊具で活動している様子などを用意する。次に、タブレット端末のカメラ機能を使って、油粘土を造形していく方法を指導する。本題材では、人物の手足をひねり出して作ること、竹串や粘土へらを使って細かい部分を作ること重点をおいて説明する。大きく電子黒板に映し出すことで、細かい作業も児童に伝わりやすくなると思われる。最後に、児童の作品をタブレット端末で撮影し、前方の電子黒板に提示する。粘土板を持って移動すると作品が壊れる危険性もあるため、画像に撮っておく。児童は、作品の説明や工夫を電子黒板のタッチペンを使用して発表する。

児童のICT機器の活用については、生活科の「学校たんけん」において、デジタルカメラで撮影した写真を使って地図づくりを行っている。さらに、日常的に算数科で電子黒板やタッチペンを使用した授業を行っている。

3 目標

- ・ 遠足で楽しかったことを思い出し、そのときの様子を楽しく立体に表そうとしている。
(造形への関心・意欲・態度)
- ・ 遠足のことを思い出し、楽しかったことや印象に残ったことの中から、自分が表したいことを見つける。
(発想や構想の能力)
- ・ 表したいことに合わせて、油粘土の形を変えたり、粘土へらなどの道具を使用したりして、工夫して表現している。
(創造的な技能)
- ・ 友達との表し方や工夫したことについて、自分の活動との違いに気づく。
(鑑賞の能力)

4 評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
生活の中から自分が楽しいと感じたことや好きなこと、発見したことなどを絵や粘土にして表そうとしている。	うれしかったことや楽しかった時の様子を基に、表したいことを考えている。 【A 表現(1)ア】	身近な材料や扱いやすい用具を使って、楽しかったことの様子が表れるように、形のつくり方を工夫している。 【A 表現(2)ウ】	感じたことを話したり、友人の話の聞いたりするなどして、互いの工夫したところや表したかったことを感じ取っている。 【B 鑑賞(1)イ】

5 指導計画 (全2時間)

	学習活動	☆指導 ★評価規準
第1時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠足での楽しかったことを思い出し、粘土を使って立体に表現する。 ・ 友達の工夫を聞き、自分の作品との相違点に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆遠足のことを思い出させ、楽しかったことを思い出させる。 ☆粘土をひねり出したり、道具を使ったりすることを教える。 ★遠足での楽しかったことを思い出し、立体に表そうとしている。
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の工夫を知り、作品の再構成を行う。 ・ 作品を友達に紹介し、工夫したところを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆友達の工夫していたところを確認する。 ★楽しかったことの様子を表すために、形のつくり方を工夫している。 ☆電子黒板を使って、発表させる。

6 準備

- ・ 教師 写真資料（昆虫館内、活動や昼食の写真）、予備の粘土、粘土板、へら
タブレット端末、電子黒板、タッチペン
- ・ 児童 油粘土、濡らした雑巾

7 本時について

(1) 目標

- ・ 遠足での楽しかったことを思い出し、表現している。 【造形への関心・意欲・態度】
- ・ 思いを表すために、形を工夫したり、道具を使ったりできる。 【創造的な技能】
- ・ 友達の工夫を聞き、自分の作品との違いに気付くことができる。 【鑑賞の能力】

(2) 展開

時間	○学習活動 ・ 予想される子どもの姿	☆指導 ★評価 () 支援学級児童への指導
5分	<p style="text-align: center;">遠足で楽しかったことを思い出そう。</p> <p>○遠足で昆虫館に行ったことを思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「蝶々がきれいだった。」 ・「お弁当がおいしかった。」 ・「ジャングルジムが楽しかった。」 	<p>☆写真を提示して、思い出しやすいようにする。</p> <p>★楽しかったことを思い出そうとしている。</p> <p>(準備物があるかを一緒に確認し、遠足で何をしたのか思い出せるように声かけをする。)</p>
30分	<p style="text-align: center;">楽しかった思い出を、粘土でつくろう。</p> <p>○人物の作り方を知る。</p> <p>○自分の決めた思い出を粘土で作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カブトムシをつくろう。」 ・「人間が倒れないようにするために、どうすればいいだろう。」 ・「友達にポーズをとってもらって、それを見てつくろう。」 	<p>☆書画カメラを用いて指導する。</p> <p>☆電子黒板に写真を提示したままにして、児童が思い出しやすいようにしておく。</p> <p>★粘土の可能性を知り、自分の思いにあった形をつくっている。</p> <p>(粘土を握りやすいように、予め小さく分けておく。粘土を飲み込んだり、手を口に入れたりしないよう、安全に配慮する。)</p>
10分	<p style="text-align: center;">みんなの作品を、見せ合おう。</p> <p>○電子黒板に提示された作品を、タッチペンを用いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぼくは、蝶々が体にとまったところをつくりました。」 ・「お弁当を細かくつくりました。」 	<p>☆作品を撮影し、電子黒板に提示する。</p> <p>★友達の商品を見て、自分の改善点を探そうとしている。</p> <p>☆手洗いや周りの片づけをさせる。</p>

